

科目名称：	TOEIC演習 I	
担当者名：	藺森 喜美	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
TOEICは英語によるコミュニケーション能力を評価する世界共通のテストです。現在では世界約120ヶ国で実施されています。試験では生活に関わる身近な内容からビジネスまで幅広い分野の英語力が問われます。授業ではリスニング、リーディングを中心にユニットごとに英語力が身につくように進めていきます。準備学習としては、毎回授業の予習復習と課題プリントに取り組んでください。地道な努力が最も大切です。英語力としては英検2級を目指すレベルが望ましいです。		
授業の達成目標・到達目標		
「日常生活のニーズを充足し、限定された範囲内では業務上のコミュニケーションができる」とされているレベルである470点以上のスコアを目指します。		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP (1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	
DP (2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	○
DP (3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP (4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP (1)					0
ビジネスDP (2)	50	10	10	30	100
ビジネスDP (3)					0
ビジネスDP (4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
読む	まとまりのある説明文を理解したり、実用的な文章から必要な情報を得ることができる。	簡単な説明文を理解したり、図や表から情報を得ることができる。	簡単な物語や身近なことに関する文章を理解することができる。	簡単な文章や表示・掲示しか理解することができない。
聞く	ネイティブスピーカーが話す日常生活での情報・説明や、まとまりのある内容を理解することができる。	ネイティブスピーカーが話す日常生活での話題や簡単な説明・指示を理解することができる。	ゆっくり話してもらえば、身近なことに関する話や指示を理解することができる。	簡単な文や指示しか理解することができない。
語彙	中級レベルの語彙が理解できる。	簡単な語彙が理解できる。中級レベルの語彙が理解できることもあ	簡単な語彙、よく使用される句が理解できる。	限られた語彙しか理解できない。
文法	よく使用される、規則に基づいた文法構造が理解できる。難しい言語的要素があっても文法的に正しい選択肢を選べる。	よく使用される、規則に基づいた文法構造が理解できる。	あまり広い範囲を読む必要がないときは、よく使用される、規則に基づいた文法構造が理解できる。	簡単な文法構造があまりよく理解できない。

授業の内容・計画		事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回	オリエンテーション(授業の説明、教科書の使い方や進め方、TOEIC L&R TESTの説明、リンガポルタの活用)	教科書 iii ~ vi を読んで、TOEICテストの概要と教科書の構成を理解する。	40分
第2回	Unit 1 Restaurants Part 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7	Unit 1 Warm up の問題に取り組む。Grammar Reviewの解説を読み、問題に取り組む。	60分
第3回	Unit 2 Entertainment Part 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7	Unit 1 Warm up の問題に取り組む。Grammar Reviewの解説を読み、問題に取り組む。	60分
第4回	Unit 3 Business Part 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7	Unit 1 Warm up の問題に取り組む。Grammar Reviewの解説を読み、問題に取り組む。	60分
第5回	Unit 4 Office Part 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7	Unit 1 Warm up の問題に取り組む。Grammar Reviewの解説を読み、問題に取り組む。	60分
第6回	Unit 5 Telephone Part 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7	Unit 1 Warm up の問題に取り組む。Grammar Reviewの解説を読み、問題に取り組む。	60分
第7回	Unit 6 Letters & E-mails Part 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7	Unit 1 Warm up の問題に取り組む。Grammar Reviewの解説を読み、問題に取り組む。	60分
第8回	Unit 1-6、課題プリント①-③の復習小テスト、グループワーク	Unit 1 Warm up の問題に取り組む。Grammar Reviewの解説を読み、問題に取り組む。	120分
第9回	Unit 7 Health Part 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7	Unit 1 Warm up の問題に取り組む。Grammar Reviewの解説を読み、問題に取り組む。	60分
第10回	Unit 8 The Bank & The Post Office Part 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7	Unit 1 Warm up の問題に取り組む。Grammar Reviewの解説を読み、問題に取り組む。	60分
第11回	Unit 9 New Product Part 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7	Unit 1 Warm up の問題に取り組む。Grammar Reviewの解説を読み、問題に取り組む。	60分
第12回	Unit 10 Travel Part 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7	Unit 1 Warm up の問題に取り組む。Grammar Reviewの解説を読み、問題に取り組む。	60分
第13回	Unit 11 Daily Life Part 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7	Unit 1 Warm up の問題に取り組む。Grammar Reviewの解説を読み、問題に取り組む。	60分
第14回	Unit 12 Job Applications Part 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7	Unit 1 Warm up の問題に取り組む。Grammar Reviewの解説を読み、問題に取り組む。	60分
第15回	Unit 7-12、課題プリント④-⑥の復習小テスト、グループワーク	Unit 1 Warm up の問題に取り組む。Grammar Reviewの解説を読み、問題に取り組む。	120分

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、テキスト指定範囲の問題に取り組むノートにまとめること、また、課題プリントの問題に取り組むことになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、50%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。
小テスト 10%、提出課題 10%、授業中の言語活動への積極的参加 10%、TOEIC試験の結果 20%

課題に対するフィードバック

小テスト、課題プリントは評価し返却する。定期試験は、希望者に返却する。

教科書・参考書

BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST(成美堂) 事前事後学修および授業内で問題に取り組む、授業内で解法のポイントについて解説を受ける。